

第三セクター等経営健全化方針

1. 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和5年3月1日
作成担当部署 大田原市 商工観光課

2. 第三セクターの概要

法人名 株式会社大田原ツーリズム
代表者名 藤井 大介
所在地 栃木県大田原市本町 1-3-3
設立年月日 平成24年6月1日
資本金 65,000千円【当該地方公共団体の出資額 50,000千円（76.92%）】
業務内容 農家民宿・体験プログラム・体験旅行コーディネート業務等

3. 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

当該法人は、本市でのグリーン・ツーリズム事業を推進すべく、農家民宿・体験プログラム・体験旅行等の企画運営及びコーディネート業務を担い、地域活性化に資することを目的として設立した。

しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大とそれに伴う世界的な観光需要の縮小により、国内外の教育旅行等の受け入れができない状態が続き、一旦債務超過に陥ってしまった。

令和4年度では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、徐々に教育旅行の受け入れを行っており、新型コロナウイルス感染症の終息により経営状況の改善が見込まれる。

本市は、継続的に経営改善のための指導・支援を行っていく。

4. 抜本的な改革を含む経営健全化の取り組みに係る検討

事業開始当初から売上高は順調に伸びており、平成27年度以降は黒字化をしている。新型コロナウイルス感染症の影響により経営状況は一時的に悪化したが、別売上の改善、コストダウン、営業活動等の売上拡大に資する取り組みを行うと共に、農家民宿受入れ体制の整備を行い、アフターコロナを見据えた活動を積極的に行っていた。

5. 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

① 営業活動の強化

- ・ 取引拡大を目的とした新規取引先への営業活動
- ・ 既存顧客のつなぎ止めを目的とした営業活動

② 受入れ体制の整備

- ・ 個人旅行者の受入れ体制の施設整備
- ・ 農家民宿実践農家の受入れ環境の整備及びモチベーションの向上

6. 法人の財政状況

貸借対照表から	項目	金額（千円）		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	資産総額	48,020	66,304	87,601
	（うち現預金）	20,801	31,247	63,433
	（うち売上債権）	122	13,729	851
	（うち棚卸資産）	167	136	69
	流動負債	14,210	12,833	47,533
	固定負債	36,046	49,250	52,999
	（うち市借入金）	0	0	0
	純資産額	△2,236	4,220	△12,931

損益計算書から	項目	金額（千円）		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	売上高	61,092	72,765	84,057
	費用	81,274	73,706	101,146
	営業損益	△20,182	△940	△17,088
	営業外収益	80	10,280	687
	営業外費用	1,593	2,517	385
	当期純利益・損失	△21,694	6,822	△16,786